情報通信工学専攻　　「英語」につきましては、

著作権処理等の都合により公表しておりません。

以下の内容の問題が出題されました。

出典: Maurizio Arseni, The Stratosphere Will Be Telecom’s NextFrontier: Japan’s SoftBank is developing airship-based 4G and 5G cell masts, IEEE Spectrum, July 31, 2025, IEEE より、一部を抜粋（改変なし）。なお、各設問の出題意図及び採点基準は以下の通りである。

① 背景における成層圏での飛行船型基地局を使った通信サービスを理解するのに必要な英語読解力を測定する。採点基準は各文節において以下の内容が正しく説明できていること。（成層圏から通信サービス。飛行船型基地局。衛星ベースのプラットフォームとの比較）

② 太陽光発電式飛行船の説明についての英語読解力を測定する。採点基準は各文節において以下の内容が正しく説明できていること。（太陽光発電式飛行船の試験飛行実績）

③ 5G におけるビームフォーミング技術に関する英語読解力及び理解度を測定する。採点基準は各文節において以下の内容が正しく説明できていること。（飛行船のアンテナシステム、ビームフォーミング）

④ 遅延性能調査に関する英語読解力及び理解度を測る。採点基準は各文節において以下の内容が正しく説明できていること。（衛星と飛行船型プラットフォームにおける遅延性能比較）

⑤ HAPS におけるミリ波帯とマイクロ波帯利用に関する英語読解力及び理解度を測る。採点基準は各文節において以下の内容が正しく説明できていること。（従来の飛行船型基地局で使用されていたミリ波帯。ミリ波帯での問題点。新たに解放されたマイクロ波帯）